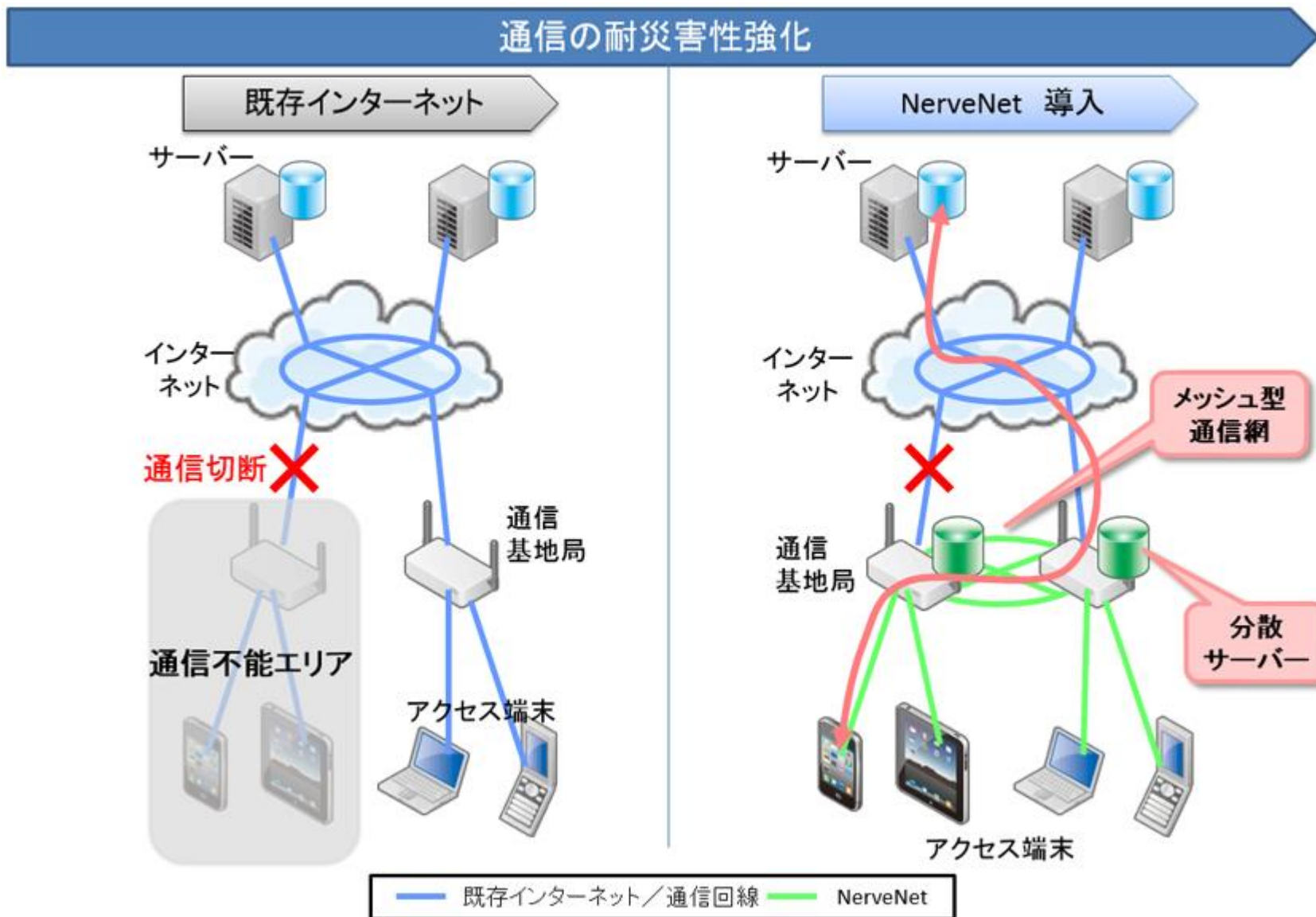


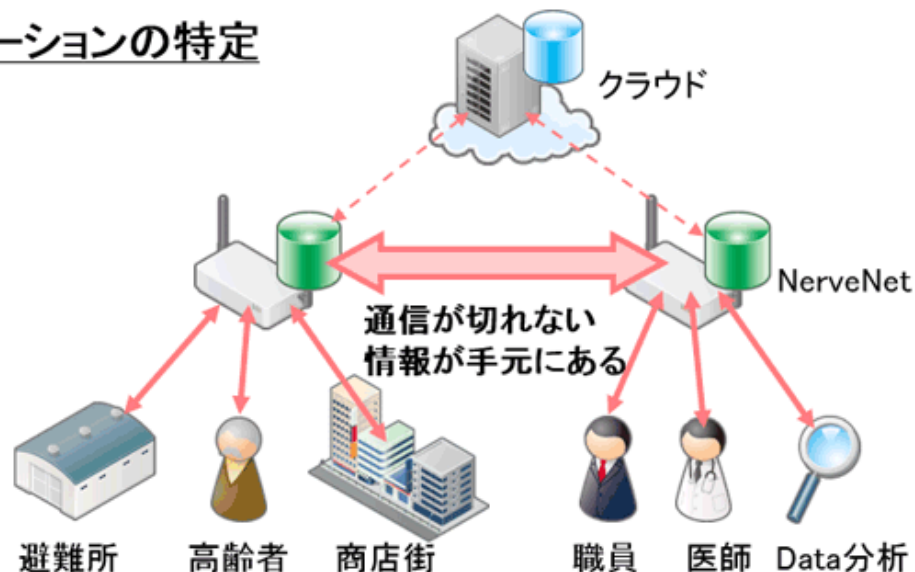
NerveNetによる「通信の対災害性強化」のイメージ



NerveNetの「平時活用アプリケーション」の検討概要

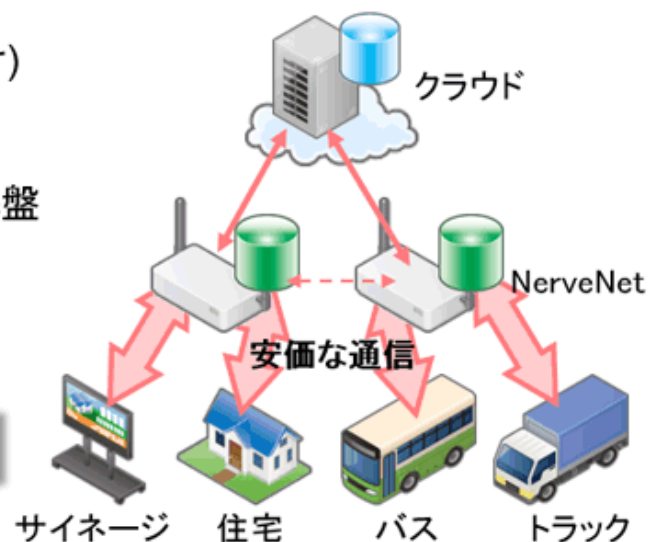
①NerveNetの特徴を活かしたアプリケーションの特定

- ・地域情報配信
 - ・地域災害監視/地域河川監視
 - ・地域見守り(高齢者、要介護者、障害者)
 - ・地域コミュニティ強化(自治体情報の配信)
 - ・徒歩/移動体/自転車などの街歩き
 - ・地域商店街の活性化
 - ・Open Data、Big Dataの活用
- ⇒インターネットや携帯電話では実現できないアプリケーションのアイデア(サービス向上)



②安価な通信インフラとしてのサービス化

- (基地局を通常と同じと見立てた場合、ラストワンマイル向け)
- ・地域内ミニキャリア、議会広報
 - ・公共職員間の通信・通話インフラ、遠隔医療・介護
 - ・スマートシティ、HEMS、BEMS、スマートグリッドの省エネ基盤
 - ・公共交通の位置把握/バスロケ
 - ・自販機や物流などの在庫管理、買い物支援
- ⇒通信コストの削減視点でリプレースを狙う(コスト削減)



■住民サービスのサービス向上あるいはコスト削減